

# 令和4年度 指定管理業務 実績評価シート

作成年月日 2023年8月30日

部課名 観光部 文化振興課

施設名	弘前れんが倉庫美術館及び土淵川吉野町緑地
施設の設置目的	JR弘前駅と弘前公園の中間に位置し、中心市街地に隣接する吉野町周辺に当該施設を設置し、文化芸術活動の推進及び中心市街地の賑わいを創出するもの
所在地	弘前市大字吉野町2-1,2-7
指定管理者名	弘前芸術創造株式会社
指定期間	令和2年4月1日～令和17年3月31日
1 事業計画の実施状況	<p>PFI事業契約書、要求水準書及び令和4年度運営・維持管理業務年間計画書に基づき、概ね計画どおりに実施されている。</p>
2 自主事業の実施状況	<p>今年度は、自主事業を4件実施しており、弘前大学への寄附講義のほか、大学生に対する鑑賞支援を実施し、現代美術への関心が高まるよう鑑賞機会を提供した。また、美術館DX実証事業ではデジタル技術の特性を活かし、美術館がもつ可能性を広げる試みを実施した。「H-MOCAガイドツアー」では、団体向けにプライベートツアーを実施するガイドプログラムを作成し、来館者増に努めている。</p>
3 市民サービス向上のための取組状況	<p>弘前駅、最寄バス停等にバナーやサインの取り付けを行い、アクセス向上や美術館の周知に努めている。また、展示作品により親しむためのガイドツアーや美術館の建築そのものの魅力発信のため建築ガイドツアーを定期的実施したほか、アート以外の分野のイベントも多数実施し、市民サービスの充実を図った。その他、美術館のボランティア組織である「れんが倉庫部」では活動の機会を大幅に増やし、部員が様々な活動ができる機会を提供した。</p>
4 市民ニーズの把握の実施状況	<p>当該施設では、利用者の意見・要望を把握するためアンケート調査を実施しており、いただいた要望等については、十分に検討のうえ、様々な業務で対応している。令和4年度はアンケートの回答率を上げるため、回答方法の見直しを行った結果、大幅に回答数が増加した。</p>
5 施設の利用状況（利用者数、稼働率など）	<p>展覧会観覧者数は47,819人と目標であった約5万人には届かなかったが、前年度の22,834人の2倍以上となった。貸館業務についても778件と、前年度の329件を大幅に上回る結果となった。</p>
6 指定管理業務の収支状況	<p>令和4年度は秋冬展の展示内容充実を図るため、指定管理料を増額しているが、今後はこれまでの来館者実績を踏まえた年間収入を算出し、それに見合った指定管理業務を実施することとしている。</p>

## 7 実地調査の結果

月次報告や年間報告等について、内容の改善を要する項目が散見されるほか、設備等の不具合について、対応に時間を要する場合があるが、当該施設の運営・維持管理業務は概ね適正に実施されている。

## 8 成果指標の達成度

当該施設の運営・維持管理業務は要求水準どおりに実施されている。

## 9 評価

### (1) 指定管理者の自己評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	B	契約書、要求水準書等に基づき、指定事業の実施、法令等の遵守、適切な職員配置をし、施設運営を行った。	展覧会やイベント、様々な取組を事前事後ともに広く周知していく。業務報告を適切に実施する。
施設の管理	B	設備点検や定期衛生作業を実施し施設は良好に保たれている。また常駐警備業務を実施し利用者の安全を保っている。	空調設備を24時間稼働する必要があるため、特に劣化が激しい。定期的に適切に対応する必要がある。
経理の状況	C	帳票等の整備、経理の区分、収支状況、経費の削減、帳簿等の保管状況については適正に実施されている。	適正に管理されていると判断される。
団体の財務状況	B	概ね事業計画書通りに実施されており、SPCは安定して運営されている。	特に問題は見られない。

### (2) 市の指定管理者に対する評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	B	PFI事業契約等に基づき、概ね適正に実施するとともに、自主事業により来館者の増加に取り組んでいる。	展覧内容の充実や魅力あるイベントを企画するとともに、幅広い周知に努めていただく。
施設の管理	B	設備点検や定期衛生作業など、PFI事業契約等に基づき、概ね適切に実施している。	設備等の不具合には速やかに対応するよう努めていただく。
経理の状況	C	展覧会経費として指定管理料を追加している一方で、支出面では原油価格・物価高騰等に対応しながら支出の抑制に努めている。	来館者実績を踏まえた、収支管理に努めていただく。
団体の財務状況	B	概ね事業計画書どおりに実施されており安定している。	今後も安定した財務状況を維持していただく。

### 【評価の視点】

評価区分	評価の視点
施設の運営	法令等の遵守、使用許可、市の指定事業、付随業務、自主事業、公平性、職員配置・研修、開館時間・休館日、職員の接遇、利用者ニーズの把握・反映、事業計画の実施状況、業務報告など
施設の管理	利用者の安全対策、施設・設備の維持管理、個人情報の管理、文書等の管理、備品等の管理、緊急時対策、災害対策など
経理の状況	帳票等の整備、経理の区分、収支状況、経費の削減、帳簿等の保管状況など
団体の財務状況	安定的な施設の管理が可能な経理的基盤を有しているか

### 【評価の基準】

A	協定書・基準書等の内容を超える管理運営が行われたと判断できるもの (適正な管理運営に加えて、更なる取組みや成果があると評価できるもの)
B	協定書・基準書等の内容を概ね適正に実施していると判断できるもの (軽微な改善点はあったが、速やかに改善されているもの)
C	協定書等の内容に対して改善点はあったが、適切な改善策が講じられているもの
D	協定書等の内容に対して不履行があるものや、改善がなされていないものがあるもの

### ※「団体の財務状況」の評価基準

B	問題がない
C	今後に注意を要する
D	早急な改善を要する